

科学館の



コレクション

33

5球スーパー

資料登録番号
EL-2012-1

5球スーパーとは、真空管を5本使ったスーパーヘテロダイン方式のラジオ受信機のことです。このスーパーヘテロダインという名前はある年代にとっては懐かしいものだと思いますが、説明せよと言われると難しいものです。

展示解説では、異なる周波数の波を重ね合わせた時に起こる「うなり」現象を利用して目的の電波を増幅する云々と簡単に書きました。しかし、実際にはスーパーヘテロダインは、波の足したり引いたり重ね合わせではなく、掛け算(合成)になっているようです。

さて、この5球スーパーはナショナル製ですが、本体には型番がありません。昭和30年頃作られたもののようですので、私より「お兄さん」になります。振りかえれば、私のこども時代は、真空管だった家電製品がだんだんとトランジスタに変わっていった時代でした。私より上の世代には、ラジオ工作少年がたくさんいらっしゃったでしょう。でも、同年代の友達にはそんな人はひとりもいませんでした。

中学から高校にかけて、BCLと言って海外短波放送を聞くのが流行りました。受信報告書を放送局へ送ると、放送局から送り返されるペリカードというものを集めている友人もいました。私も短波ラジオを買ってもらい、オーストラリアからの日本語放送などを聞いていました。そのラジオもスーパーヘテロダイン方式を使っていました。当時その意味など全然わかりませんでしたが、なにやら高級なものというイメージでした。地球の裏側のエクスアドルの放送が聞こえた時は、感動したものです。

この5球スーパーは、平成15年に都島工業高等学校電気科からたくさんの資料を寄贈していただきましたが、その中のひとつです。懐かしいというより、ちょっと古いこの5球スーパーのことは、型番もないのでどういったものか調べるのに苦労しています。この稿をお読みになられた方で、ラジオや真空管に詳しい方がいらっしゃいましたら、お教えいただければ幸いです。

大倉 宏(科学館学芸員)



5球スーパーラジオ



都島工業高校コレクションのケース。中は順次入れ替わって行きます。